

お客様各位

2006年7月31日
株式会社デバイスドライバース

LANTRONIX 社製 XPort-03R シリーズの新ファームウェアについて

LANTRONIX 社製デバイスサーバ XPort-03R シリーズは、2006年8月出荷分から、従来製品と比べてセキュリティと使い勝手を向上させた新ファームウェア (V6.1.x.x) がメーカ出荷時に搭載されております。新ファームウェア搭載の XPort は、お客様がご購入後ファームウェアを更新していない場合は、本体印刷の型番「XP1001000-3R」横のレビジョン表示が「Rev. B11」と表記されているので見分けることが可能です。

この XPort 用の新しい標準ファームウェアと、それに対応した新しい DeviceInstaller は 2006年3月にリリースされたもので、従来の XPort にも搭載可能です。新しいファームウェアでは、いくつかのバグフィックスと XPort の発売以降に増えた新機種で改良されてきた機能を取り込み、バージョン番号も従来までの V1.x から、6.1.0.x の形式に一新されました。

また Web ブラウザからの XPort 設定をサポートする「WEB マネージャ」は、従来の JAVA applet から、DHTML/JavaScript で全ての設定ができるように全面的に書き直され、パスワード設定も可能になりました。そのため、ブラウザから XPort の設定をするために JAVA ランタイムをインストールする必要がなくなっています。

XPort-03R シリーズの今回の変更では、ユーザ・アプリケーション搭載時の基本動作とハードウェアの機能・性能は変わらず、いつでも従来のファームウェア (V1.8x) と新ファームウェア (V6.1.x.x) を交換できるため、アプリケーションやユーザーデータを変更することなく、そのまま使用することが可能です。しかしながらファームウェアのバージョンの違いにより、次ページの表に示しますような差異がありますのでご利用上の注意をお願い申し上げます。新ファームウェアとそれに対応した新 DeviceInstaller の使い方、より詳細な情報につきましては、最新のユーザガイドを以下からダウンロードしてご参照ください。

- ユーザガイド (DeviceInstaller の説明を含みます)
http://www.lantronix.com/pdf/XPort_UG.pdf
(他の文書は <http://www.lantronix.com/support/documentation.html> から入手可能です)
- 最新のファームウェアと DeviceInstaller
<http://www.lantronix.com/support/downloads.html>
- 従来のファームウェアと DeviceInstaller、ダウングレードツール
ftp://ftp.lantronix.com/pub/old_rel/xport-03/Xport_Downgrade_Process_from_6.x_to_1.x/
ftp://ftp.lantronix.com/pub/old_rel/xport-03/1.80/
ftp://ftp.lantronix.com/pub/old_rel/deviceinstaller/for_XPort/
- ファームウェアのアップグレードに関する FAQ
http://ltxfaq.custhelp.com/cgi-bin/ltxfaq.cfg/php/enduser/std_adp.php?p_faqid=1170

Device Drivers Ltd.

1-5-1-103, Wakamatsu-cho, Fuchu
Tokyo, Japan 183-0005
Tel: 042-363-8294
Fax: 042-363-8255
e-mail: info@devdrv.co.jp
http://www.devdrv.co.jp/

● 新ファームウェア (V6.1.x.x) に関する注意点

#	項目	内容
1	最大ブロック数の制限	<p>従来はWEBコンテンツ用に最大7ブロック (1ブロックは64KB) のFlashROM領域を利用できましたが、6.1.0.0以降の新しい標準ファームウェアを利用した場合、WEBコンテンツ用などにユーザが使える領域の最大ブロック数は6個になります。</p> <p>また、ファームウェアを工場出荷時の状態のまま、この最新ファームウェアに対応した新しいWEBマネージャを使用する場合には、WEBマネージャが3ブロック分占有 (従来は1ブロックだけ占有) するため、ユーザが使える領域は実質的に#1~#3の3ブロックになり、#4~#6の領域が使用できません。</p> <p>4ブロック以上のユーザ領域を使用するためには、以下の方法を行う必要があります。</p> <p>WEBマネージャを削除する ファームウェアをV1.8にダウングレードする</p> <p>なお、従来のV1.8用のWEBマネージャは、6.1.0.0以降の新しいファームウェアでは利用できません。</p>
2	DeviceInstaller	<p>6.1.0.0以降のファームウェアをインストールしたXPortを扱うためには、基本的に4.0.0.0以降のDeviceInstallerの利用が推奨されています。以下から最新版のDeviceInstallerをダウンロードしてご利用下さい。http://www.lantronix.com/support/downloads.html</p>
3	アップデート方法	<p>今回のファームウェアの更新でLANTRONIX社が推奨するファームウェアのアップデート方法は、従来のようなDeviceInstallerを使用する方法ではなく、tftpを使用する方法です。この方法で、従来のXPort-03RにもV6.1以降のファームウェアを搭載することが可能です。詳細は以下をご参照下さい。 http://e-kit.jp/products/xport/update.htm</p>
4	旧バージョンへの復帰	<p>一旦インストールした6.1.0.0以降のファームウェアを、V1.8の古いファームウェアに戻すことも可能ですが、やはりtftpを使用して行います。詳細は以下をご参照下さい。 ftp://ftp.lantronix.com/pub/old_rel/xport-03/Xport_Downgrade_Process_from_6.x_to_1.x/</p>
5	DeviceInstallerでの設定	<p>新しいDeviceInstallerではセキュリティ向上のため、単独でXPortを設定する機能が無くなりました。今までDeviceInstallerを利用してしていたXPortの詳細設定は、ブラウザ経由でXPortの「WEBマネージャ」のページにアクセスするか、telnetからの設定になります。いずれの場合もパスワードで、設定を制限することが可能になりました。</p>
6	入出力PINの定義設定	<p>XPortの機能のうちtelnetからでは設定できない、入出力PINの定義設定 (Configure) 等を変更する場合には、あらかじめ「WEBマネージャ」をインストールしておいてWEBからのアクセスを有効にしておくか、一時的に従来の古いDeviceInstaller (3.6以前) をインストールして使用する必要があります。DeviceInstallerはバージョンを切り替えて使うことができず、常に上書きインストールをするため、新しいファームウェアで使用する場合には、設定後再度最新版をインストールし直すといった運用上の注意が必要になります。</p>